

Financial Reporting アクセシビリティ・ガイド リリース11.1.2.4

リリース 11.1.2.4

製作著作 © 2012, 2015

目次

はじめに	1
Financial Reportingのアクセシビリティを使用可能にする	1
Financial Reportingのアクセシビリティ機能	2
Financial Reportingのキーボード同等操作	2
ドキュメントのフィードバック	12

はじめに

このガイドでは、Oracle Hyperion Financial Reportingのアクセシビリティ機能について説明します。サポートされる支援テクノロジーについては、『Oracle Hyperion Enterprise Performance Management System インストール概要』ガイドを参照してください。

オラクルのお客様は、My Oracle Supportを通じて電子サポートを得ることができます。詳細は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>、聴覚に障害があるお客様は<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>を参照してください。

オラクル社のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWebサイト<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>を参照してください。

Financial Reportingのアクセシビリティを使用可能にする

Explorer 6および7を使用する場合、「スクリーン・リーダーの使用可能」は、Oracle Hyperion Enterprise Performance Management Workspaceの「ユーザー・プリファレンス」の「全般」タブに表示されます。



注:

EPM Workspaceでスクリーン・リーダー・サポートを使用可能にする前に、アプリケーションがすでに開いている場合は、一度閉じて、新規のブラウザ・ウィンドウで開き直す必要があります。

JAWS(R)画面読み取りソフトウェアを使用する場合はInternet Explorerをブラウザとして使用することをお勧めします。JAWSスクリーン・リーダーがリンクおよびイメージのショートカット・キーを読み上げるようにするには、仮想PCカーソル(VPC)モードを有効にする必要があります。

▶ アクセシビリティを使用可能にするには:

1. EPM Workspaceで、「ファイル」、「プリファレンス」の順に選択します。
2. 「アクセシビリティ・モード」から「スクリーン・リーダー・サポートの使用可能」を選択します。

このオプションを選択すると、インストール済のスクリーン・リーダーが、画面に表示された情報を読み上げることが可能になります。

3. 「OK」をクリックします。

Financial Reportingのアクセシビリティ機能

高コントラスト・モードの設定

高コントラスト・カラー・モードはアクセシビリティ・モードを高めるために使用できます。このオプションは、スクリーン・リーダーがサポートされているプラットフォームでのみサポートされています。

▶ 高コントラスト・モードを設定するには:

1. 次のいずれかのアクションを行います:
 - 「ファイル」、「プリファレンス」の順に選択します。「アクセシビリティ・モード」の「テーマの選択」ドロップダウンから「高コントラスト」を選択します。
 - 高コントラスト・モードと通常モードの切替えには、ショートカット・キーも使用できます。[Ctrl]を押しながら[Shift]と[H]を押すと、テーマが切り替わり、EPM Workspaceの再起動または作業の続行を尋ねるプロンプトが表示されます。テーマの変更を確認するには、EPM Workspaceを再起動する必要があります。作業を続行した場合は、次のログオン時にテーマの変更が有効になります。
2. 「OK」をクリックします。

EPM Workspace UIでの[Tab]キーの使用法

EPM Workspace UIのデフォルトのタブ順序は、左から右、上から下に移動します。コンポーネント順序は、ツールバー、検索コントロール、ビュー・ペイン、コンテンツ領域、コンテンツ領域(下)タブ・バーです。タブ順序は両方向にループするので、最後のアイテムでタブ移動すると最初のアイテムに戻り、最初のアイテムから逆にタブ移動すると最後のアイテムに移動します。次の要素は、タブ順序に含まれません:

- ナビゲート・メニュー
- メイン・メニュー・バー(メイン・メニュー・アイテムのアクセスにはショートカット・キーを使用する)
- 「Welcome <username>」メッセージと付属のログオフ・テキスト・リンク(代わりにツールバーのログオフまたは終了アイコンあるいは「ファイル」メニューのアイテムを使用する)

Financial Reportingのキーボード同等操作

グローバル・ナビゲーション・ショートカットの使用

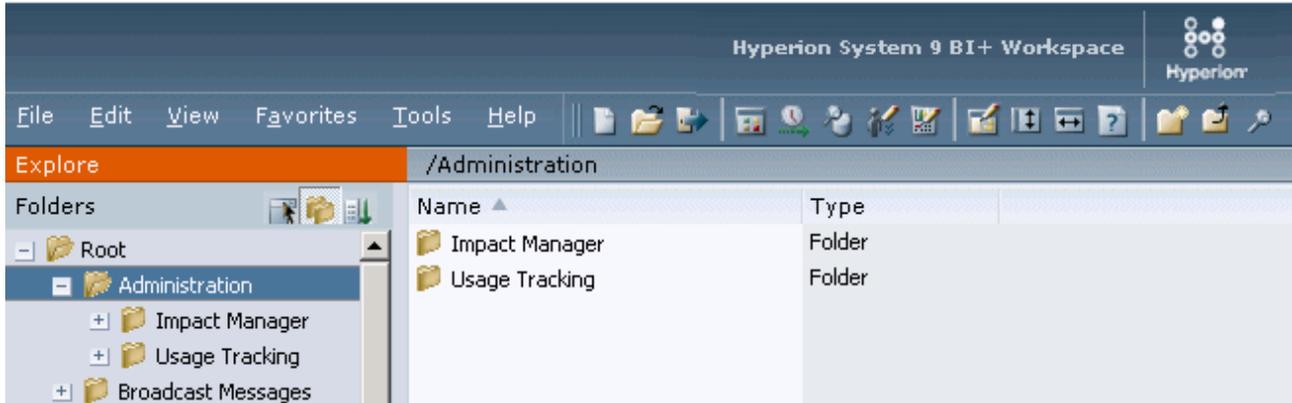
EPM Workspaceは、全般的なナビゲーション用のキーボード・ショートカットを提供します。

表1 グローバル・ナビゲーション・ショートカット

キー	アクション
[F10]	メニュー・バーの最初のメニューにフォーカスを移動します。
[Ctrl]+[0]	現在のビュー・ペインをフォーカスします(ビュー・ペインは自身をフォーカスできないため、これは最初の有効な子をタブ順でフォーカスします)。ビュー・ペインがない場合、何も行われません。
[Ctrl]+[1], [2]...[9]	[Ctrl]を押しながら[0]を押す場合と同じですが、1番目、2番目の順に9番目までのビュー・ペインを選択し、フォーカスをその最初のフォーカス可能な子に移動します。
[Ctrl]+[B]	注釈領域のコントロールをフォーカスします。
[Ctrl]+[G]	EPM Workspaceの下部のコンテンツ・タブ・バー(開いているモジュールをリストする)をフォーカスします。フォーカスは現在のモジュール・タブに移動します。複数のドキュメントが開いている場合は、現在のモジュール・タブが強調表示されます。タブが開いていない場合、何も行われません。
[Ctrl]+[F]	「検索」フィールドをフォーカスします。
[Ctrl]+[T]	標準ツールバーをフォーカスします。個々のボタンを選択するには[Tab]キーを使用します。
[Ctrl]+[Y]	コンテンツ領域をフォーカスします。アクティブ・ドキュメントのコンテンツ領域のタブ順で最初の有効な子にフォーカスを移動します。
[Ctrl]+[F4]	現在のアクティブなモジュール(ドキュメント、タスクまたはファイル)を閉じます。何も開いていない場合、何も行われません。
[Ctrl]+[Shift]+[H]	選択したテーマを切り替えて、ユーザー・インタフェース(UI)のカラー・スキームを変更します。
[Ctrl]+[F6]	フレームのコンテンツ領域に移動し、フォーカス可能な最初の要素(存在する場合)をフォーカスします。
[Ctrl]+[Shift]+[F6]	フォーカスをフレームのコンテンツ領域からフレーム自体に戻します。[Ctrl]を押しながら[F6]を押してすぐにはiframeに戻れませんが、[Tab]を使用してiframeの外にある他のコントロールに移動できます。[Ctrl]を押しながら[Shift]と[F6]を押した後にiframeに戻るには、[Tab]を押して別のコントロールに移動して、次に[Shift]を押しながら[Tab]を押してフォーカスをiframeに戻し、[Ctrl]を押しながら[F6]を押してiframeに移動します。
矢印キー([←]/[→]/[↓]/[↑])	エクスプローラ・モジュール内を移動して、グリッドまたはツリー・ビューで他のセルと行にアクセスする組込み方法。
[Ctrl]+[L]	「リンク・リスト」ウィンドウ内の選択可能なナビゲーション・ターゲットのリストを表示します: <ul style="list-style-type: none"> • ビュー・ペインに移動 • コンテンツ領域に移動 • 注釈領域に移動 • タブ・バーに移動 • ツールバーに移動

EPM Workspaceの図とコールアウト

次の図は、キーボード・ショートカットを使用したEPM Workspaceのエクスプローラ・モードのナビゲート方法を示します。他のWorkspaceモードも同じショートカットを使用します。



EPM Workspaceユーザー・インタフェースには次の領域があります。

1. メニュー・バー([F10]) - タスクおよびモジュールを整理したコマンドおよびサブコマンド。
2. 標準ツールバー([Ctrl]+[T]) - タスクを実行するボタン。
3. ビュー・ペイン([Ctrl]+[0]) - ゼロ個以上のパネル間をジャンプできるボタンがある領域。各パネルには特定の使用方法とそれに対応するコントロールがあります。
4. ビュー・ペインおよびコンテンツ領域アジャスタ([Ctrl]+[Alt]+[1]) - ビュー・ペインおよびコンテンツ領域のサイズを調整する設定。ビュー・ペインを非表示にすると、EPM Workspaceを使用するためのコンテンツ・フレームが大きくなります。「表示」、「ビュー・ペイン」の順に選択して、ビュー・ペインを表示または非表示にします。
5. コンテンツ領域([Ctrl]+[Y]) - アクティブなモジュール・ドキュメント、タスクまたはファイルを表示する領域。
6. コンテンツ・タブ・バー([Ctrl]+[G]) - 現在のモジュール固有の情報バー。複数のドキュメントが開いている場合、現在のドキュメント・タブが強調表示されます。
7. 「検索」フィールド([Ctrl]+[F]) - リポジトリ内を検索するためのテキストを入力する場所。

全般UI要素のアクセシビリティ動作

次に、個々のユーザー・インタフェース(UI)要素で処理される固有のキーストロークと、UI要素をフォーカスしたときのスクリーン・リーダーの予期される動作を示します：

表2 ユーザー・インタフェース要素タイプ

UI要素	キー・イベント
ボタン	[Enter]または[Space]を押すと、ボタンがアクティブになり、左クリックと同じアクションを起こします。
コンボ・ボックス	<ul style="list-style-type: none"> 上または下矢印キーは、ポップアップ・メニューを表示し、コンボ・ボックス値の選択を可能にします。 [Space]または[Enter]では、ポップアップからコンボ・ボックス・アイテムを選択します。 編集可能な場合、英数字キーで編集します。
ダイアログ	<ul style="list-style-type: none"> ダイアログ・ボックスに承認ボタンが定義されている場合、[Enter]キーを押すとアクティブになります。 ダイアログ・ボックスはモーダルで、他のすべてのキーボード・イベントをブロックします。
コンテンツ領域 (IFrame)	<ul style="list-style-type: none"> [Ctrl]を押しながら[F6]を押してフレームに移動します。フォーカス可能な最初のアイテムを選択するには、[Tab]を押す必要がある場合があります。 [Ctrl]を押しながら[Shift]と[F6]を押すと、フォーカスがフレームのコンテンツ領域からフレーム自体に戻ります。

UI要素	キー・イベント
リスト	<ul style="list-style-type: none"> • [↑]または[↓]キーでは、リスト要素で選択フォーカスを上または下に移動します。選択は、継続的に更新されます。矢印キーを押すと選択イベントが発生します。 • [Ctrl]を押しながら[↑]または[↓]キー: アイテムのフォーカスが現在の選択を変更せずに上または下に移動します。[Space]を使用してフォーカスしているアイテムを選択に追加できます。 • [Shift]を押しながら[↑]または[↓]キー: アイテムのフォーカスが上または下に移動し、新たにフォーカスしたアイテムが選択に追加されます。 <p>注:</p> <p>リストが1つの選択のみサポートする場合、[Ctrl]および[Shift]キー修飾子は無効です。</p>
タブ・バー	[←]または[→]キーでは、選択のフォーカスを移動し、ただちに新しいタブを選択します。選択のフォーカスはタブ・バーの端からラップします。
テキスト・フィールド	<ul style="list-style-type: none"> • 編集可能な場合、英数字キーで編集します。 • [Tab]では、タブ順に移動します。タブは、テキスト・フィールドの文字として入力できません。
ツリー	[←][→]キーは、子があれば現在のノードを縮小または拡大します。子がなければ、何も起きません。拡大は、非再帰的です。ただし、ツリーが任意のサブノードの以前の拡大状態を記憶できる場合、そうします。

非標準コントロールのアクセシビリティ動作

次に、非標準コントロールのアクセシビリティ動作を説明します。

コンテンツ・タブ・バー

コンテンツ・タブ・バーをフォーカスすると、選択のフォーカスは現在のタブに移動します(該当する場合)。

表3 コンテンツ・タブ・バー - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
コンテンツ・タブ・バー	
[→][↑]	任意のドキュメントのコンテンツ・タブで、右側の次のタブの選択に使用します。選択はラップします。
[←][↓]	任意のドキュメントのコンテンツ・タブで、左側の次のタブの選択に使用します。選択はラップします。

「ファイル・タイプ」ドロップダウンのアクセシビリティ

「ファイル・タイプ」ドロップダウンでは、次のキーボード・ショートカットがサポートされています:

表4 「ファイル・タイプ」ドロップダウン - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
[↓]	メニューを表示します
[↑]または[↓]	選択の変更
[Enter]	選択

サイドバー・アイコン・リストのアクセシビリティ(ファイル・プリファレンス/プロパティ)

サイドバー・アイコン・リストでは、次のキーボード・ショートカットがサポートされています:

表5 サイドバー・アイコン・リスト - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
[Tab]/[Shift]+[Tab]	リスト内のアイテムを上または下にナビゲートします
[Space]	リスト内のフォーカスしたアイテムを選択します

「列の表示」ダイアログのアクセシビリティ

「列の表示」ダイアログでは、次のキーボード・ショートカットがサポートされています:

表6 「列の表示」ダイアログ - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
グリッド	
[↑]/[↓]	選択の変更
[Space]	チェック・ボックスを選択/選択解除します。選択を解除すると、エクスプローラ・リストのその列が非表示になります
リスト内のアイテムの順序を変更するためアイテムを上または下に移動する矢印のイメージ	
[↑]/[↓]	移動するアイテムを選択します
[Tab]で上/下矢印のイメージの間を移動します。	アイテムを上または下に移動します
[Space]	アイテムの上または下への移動をアクティブにします

「お気に入りマネージャ」ダイアログのアクセシビリティ

「お気に入りマネージャ」ダイアログ・ボックスでは、次のキーボード・ショートカットがサポートされています:

表7 「お気に入りマネージャ」ダイアログ - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
グリッド	
[↑]/[↓]/[←]/[→]	現在のセルの選択を変更します。
[Space]	セルを選択または選択解除します。

エクスプローラのアクセシビリティ

エクスプローラ/サブヘッダでは、次のキーボード・ショートカットがサポートされています:

表8 エクスプローラ - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
エクスプローラ・ツリー	
[↓]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの下のノードを選択します。選択はラップしません。
[↑]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの上のノードを選択します。選択はラップしません。
[Page Up]	フォーカスがノードにある場合、前のページの最後の表示可能なノードに移動します。前のページがない場合は、現在のページの最初のノードに移動します。
[Page Down]	フォーカスがノードにある場合、次のページの最初の表示可能なノードに移動します。次のページがない場合は、現在のページの最後のノードに移動します。
[→]	フォーカスが「+」アイコンのあるフォルダ・ノードにある場合、ノードを展開します。
[←]	フォーカスが「+」アイコンのあるフォルダ・ノードにある場合、次の展開されたフォルダに上がります。
[→]	フォーカスが[-]アイコンのあるフォルダ・ノードにある場合、次のフォルダに移動します。
[←]	フォーカスが[-]アイコンのあるフォルダ・ノードにある場合、ノードを縮小します。
エクスプローラ・リスト	
[↓]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの下のノードを選択します。選択はラップしません。
[↑]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの上のノードを選択します。選択はラップしません。
[Page Up]	フォーカスがノードにある場合、前のページの最後の表示可能なノードに移動します。前のページがない場合は、現在のページの最初のノードに移動します。
[Page Down]	フォーカスがノードにある場合、次のページの表示可能な最初のノードに移動します。次のページがない場合は、現在のページの最後のノードに移動します。
[Ctrl]+[↑]/[↓]	フォーカスがノードにある場合、選択を失うことなく移動できます。
[Ctrl]+[Space]	フォーカスがノードにある場合、現在フォーカスしているアイテムを選択または選択解除します。
[Ctrl]+[A]	フォーカスがノードにある場合、すべてのノードを選択します。
[Shift]+[↑]/[↓]	フォーカスがノードにある場合、アイテムの連続したリストを選択または選択解除します。
[Enter]キー	フォーカスがフォルダ・ノードにある場合、フォルダにドリル・インします。
[Enter]キー	フォーカスがフォルダ・ノード以外のノードにある場合、アイテムを起動します。

「ファイル」ダイアログのアクセシビリティ

「ファイル」ダイアログ・ボックスでは、次のキーボード・ショートカットがサポートされています:

表9 「ファイル」ダイアログ - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
[↓]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの下のノードを選択します。選択はラップしません。

キー	アクション
[↑]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの上のノードを選択します。選択はラップしません。
[Page Up]	フォーカスがノードにある場合、前のページの表示可能な最後のノードに移動します。前のページがない場合は、現在のページの最後のノードに移動します。
[Page Down]	フォーカスがノードにある場合、次のページの表示可能な最初のノードに移動します。次のページがない場合は、現在のページの最後のノードに移動します。
[←]	フォーカスがノードにある場合、フォルダ・ノード(現在のノードの親)にドリル・アップします。フォーカスがすでにルート・ノードにある場合、何も行われません。
[→]	フォーカスがフォルダ・ノードにある場合、フォルダ内にドリル・ダウンし、コンテンツを表示します。
[Enter]キー	フォーカスがフォルダ・ノード以外のノードにある場合、アイテムを選択します。

ファイル・アキュムレータのアクセシビリティ

ファイル・アキュムレータでは、次のキーボード・ショートカットがサポートされています：

表10 ファイル・アキュムレータ - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
選択したリストに追加するアイテムを左側に表示	
[↓]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの下ノードを選択します。選択はラップしません。
[↑]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの上ノードを選択します。選択はラップしません。
[Page Up]	フォーカスがノードにある場合、前のページの表示可能な最後のノードに移動します。前のページがない場合は、現在のページの最初のノードに移動します。
[Page Down]	フォーカスがノードにある場合、次のページの表示可能な最初のノードに移動します。次のページがない場合は、現在のページの最後のノードに移動します。
[←]	フォーカスがノードにある場合、フォルダ・ノード(現在のノードの親)にドリル・アップします。フォーカスがすでにルート・ノードにある場合、何も行われません。
[Ctrl]+[↑]/[↓]	フォーカスがノードにある場合、選択を失うことなく移動できます。
[Ctrl]+[Space]	フォーカスがノードにある場合、現在フォーカスしているアイテムを選択または選択解除します。
[Shift]+[↑]/[↓]	フォーカスがノードにある場合、アイテムの連続したリストを選択または選択解除します。
[Ctrl]+[A]	フォーカスがノードにある場合、すべてのノードを選択します。
[→]	フォーカスがフォルダ・ノードにある場合、フォルダ内にドリル・ダウンし、コンテンツを表示します。
[→]	フォーカスがフォルダ・ノード以外のノードにある場合、選択したリストにアイテムを追加します。
選択したリストのアイテムを右側のリストに表示	
[↓]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの下ノードを選択します。選択はラップしません。

キー	アクション
[↑]	フォーカスがノードにある場合、現在のノードの上のノードを選択します。選択はラップしません。
[Page Up]	フォーカスがノードにある場合、前のページの表示可能な最後のノードに移動します。前のページがない場合は、現在のページの最初のノードに移動します。
[Page Down]	フォーカスがノードにある場合、次のページの表示可能な最初のノードに移動します。次のページがない場合は、現在のページの最後のノードに移動します。
[←]	フォーカスがノードにある場合、選択したリストからアイテムを除去します。
リスト内のアイテムの順序を変更するための上/下矢印のイメージ	
[↑][↓]	移動するアイテムを選択します。
[Tab]で上/下矢印のイメージの間を移動します。	アイテムを上または下に移動します。
[Space]	アイテムの上または下への移動をアクティブにします。

EPM Workspaceページのアクセシビリティ

次のキーボード・ショートカットはEPM Workspaceページのコンテンツ領域でサポートしています。

表11 Workspaceページ - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
矢印キー	Workspaceページのレイアウト領域間のナビゲートに使用します。
[A]	フォーカスがレイアウト領域にある場合、このキーを押すとコンテンツ・ブラウザ内の選択コンテンツがレイアウト領域に追加されます。
[Ctrl] + [A]	フォーカスがコンテンツ・ブラウザにある場合、このキー・コンビネーションを押すと左ペインの選択したコンテンツがコンテンツとしてページに追加されます。
[r]	フォーカスがレイアウト領域にある場合、このキーを押すとレイアウト領域の除去アクションがトリガーされます。
[e]	フォーカスがレイアウト領域にある場合、編集アクションがレイアウト領域で使用可能な場合、このキーを押すとレイアウト領域の編集アクションがトリガーされます。
[l]	フォーカスがレイアウト領域にあり、起動アクションがレイアウト領域で使用可能な場合、このキーを押すとレイアウト領域の起動アクションがトリガーされます。
[M]	フォーカスがレイアウト領域にあり、レイアウト領域が最大化されていない場合、このキーを押すとレイアウト領域の最大化アクションがトリガーされるか、またはレイアウト領域の復元アクションがトリガーされます。最大化オプションは、レイアウト領域で使用可能になっている必要があります。

Workspaceのテンプレート・セレクタ・ダイアログ・ボックスのアクセシビリティ

次の表に、「テンプレート・セレクタ」ダイアログのキーボード・ショートカットを示します:

表12 「テンプレート・セレクタ」 ダイアログ - アクセシビリティ・キー

キー	アクション
[↑][↓][←][→]	[↑],[↓],[←]または[→]でナビゲートし、グループ内のアイテムを選択します

Financial Reportingのアクセシビリティ

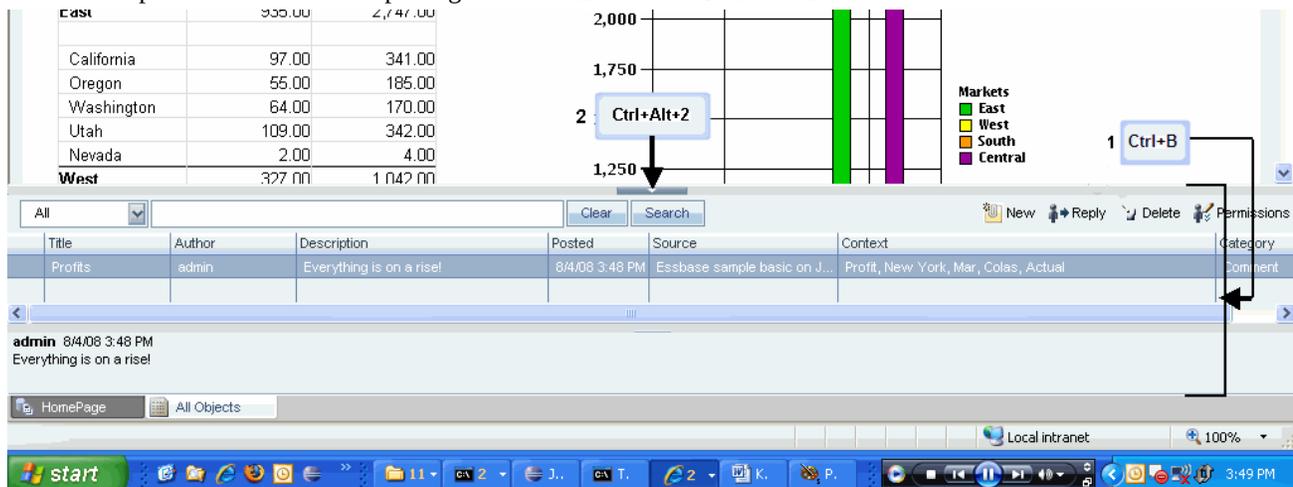
次の表はOracle Hyperion Interactive Reportingのキーボード・ショートカットを示します。

表13 Financial Reporting - ショートカット・キー

キー	アクション
[Ctrl]+[F6], [Tab]	フォーカスがリスト全体にある場合、ブックおよびバッチでレポートを選択します。
[Enter]	レポートがリスト内で選択されている場合、レポートを表示する。
メンバーの選択	
矢印キー	フォーカスがオプションにある場合、オープン・メンバーをナビゲートする。
[Enter]	フォーカスが+/-記号またはオープン/クローズ・フォルダにある場合、ツリー・ノードを開くか閉じる。
POVバー	
[Tab]	フォーカスがPOVバー全体にある場合、ディメンション・ボタンの間をナビゲートします。
[Enter]	メンバー選択ダイアログの起動に使用します。
Financial Reportingドキュメントのインポート・ダイアログ	「インポート」ダイアログで、フォーカスがフレームにあるときに、[Ctrl]を押しながら[F6]を押してフレームに移動し、[Tab]を押してフォーカス可能な最初のアイテムを選択します。

Financial Reportingの図とコールアウト

EPM Workspaceには、Financial Reportingレポートと注釈領域が表示されます。



1. 注釈領域([Ctrl]+[B]) - レポートに関連する注釈情報を表示する領域。

2. 注釈ペイン領域とコンテンツのアジャスタ([Ctrl]+[Alt]+[2]) - 注釈ペインとコンテンツ領域のサイズを調整する設定。注釈ペインを非表示にすると、EPM Workspaceを使用するためのコンテンツ・フレームが大きくなります。「表示」、「注釈の表示」の順に選択して、注釈ペインを表示または非表示にします。

Foundation Servicesのアクセシビリティ

次の表に、Oracle Hyperion Foundation Servicesのキーボード・ショートカットを示します:

表14 Foundation Services - ショートカット・キー

キー	アクション
[Tab]	標準機能の他に、このキーはフォルダ・リストの右ペインへの移動に使用します。
[Space]	標準機能の他に、このキーは、各種「プロパティ」ダイアログ・ボックスのタブ間の切替えに使用できます。また、「権限」タブ内の「プロパティ」ダイアログ・ボックスのユーザー、グループ、役割の表のアイテムのソートに使用できます。
[Ctrl] + <列番号>	このキー・コンビネーションは、「権限」タブ内の「プロパティ」ダイアログ・ボックスの「選択済」表内のアイテムのソートに使用します。
[Enter]	標準機能の他に、このキーは、「インポート」ダイアログ・ボックスのタブ間の切替えに使用できます。
<列番号>	ジョブの出力コレクション内の出力をソートするには対応する表列番号を押します。
キーボード・コンテキスト・メニュー・ボタン	マウス・カーソルを置いたアイテム(フォーカスされているものを除く)のコンテキスト・メニューを表示します。

Interactive Reportingのアクセシビリティ

次の表はOracle Hyperion Interactive Reportingのキーボード・ショートカットを示します。

表15 Interactive Reporting - ショートカット・キー

キー	アクション
[Ctrl]+[F6], [Tab]	Oracle Hyperion Enterprise Performance Management Workspaceで開いているOracle Hyperion Interactive Reportingファイルのコンテンツ・ペイン全体にフォーカスがある場合は、これらのキーを使用してセクション内およびその要素をナビゲートします。
[Ctrl]+[Shift]+[Enter]	ヒントを表示し、ステータス・バーを読み出します。
[Shift]+[F10]	コンテキスト・メニューを開閉します。
矢印キー	コンテキスト・メニューをナビゲートします。
結果/表・セクション	
矢印キーまたは[Tab]	個々のセルの間をナビゲートします。
[Shift]+矢印キー	フォーカスが結果/表・セクションのコンテンツ・ペイン全体にある場合、スクロールに使用します。
[Ctrl]+[Alt]+矢印キー	2つ以上の列を選択します。
[Ctrl]+[Space]	選択に現在の列を追加/除去します。
ピボット・セクション	
矢印キーまたは[Tab]	個々のセルの間をナビゲートします。

キー	アクション
チャート・セクション	
[Ctrl]+[Shift]	標準機能の他に、これらのキーは、2レイヤー・ナビゲーションが可能なチャートの作業に使用できます。すべての要素はグループに分けられます(あるグループが軸ラベルを含み、もう一方のグループが円グラフ・スライスを含むなど)。ユーザーは、[Tab]を押してグループ間を移動し、[Ctrl]を押しながら[Shift]を押して特定のグループにドリル・ダウンしてタブ移動を開始できます。
レポート・セクション	
[Ctrl]+[Shift]	埋込みオブジェクトの個々の要素に移動します。
[Alt]+[I]	レポート・ページ内の表を移動します。
ダッシュボード・セクション	
[Ctrl]+[Shift]	埋込みオブジェクトの個々の要素に移動します。
問合せ/CubeQueryセクション	
[Ctrl]+[Shift]+矢印キーまたは [Tab]	CubeQuery表の個別のセルをナビゲートします。

オンライン・ヘルプのアクセシビリティ

次の表に、オンライン・ヘルプのキーボード・ショートカットを示します。

表16 オンライン・ヘルプ - キーボード・ショートカット

ショートカット	説明
[Ctrl]+[Shift]+[1]	「コンテンツ」タブを開いてフォーカスを移動します。
[Ctrl]+[Shift]+[2]	「インデックス」タブを開いてフォーカスを移動します。
[Ctrl]+[Shift]+[3]	「検索」タブを開いてフォーカスを移動します。
[Ctrl]+[Shift]+[4]	ヘルプ・トピックを含むコンテンツ・フレームにフォーカスを移動します。

ドキュメントのフィードバック

このドキュメントへのフィードバックをお送りください: epmdoc_ww@oracle.com

次のソーシャル・メディア・サイトでEPM情報開発をフォローできます:

- LinkedIn - http://www.linkedin.com/groups?gid=3127051&goback=.gmp_3127051
- Twitter - <http://twitter.com/hyperionepminfo>
- Facebook - <http://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>
- Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731/#106915048672979407731/posts>
- YouTube - <http://www.youtube.com/user/OracleEPMWebcasts>

著作権情報

Oracle® Hyperion Financial Reporting Accessibility Guide,
Copyright © 2012, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

著者: EPM 情報開発チーム

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

